

第4章 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

仕事と生活のバランスのあり方について、女性の30代と70代を除き、男女とも仕事と家庭生活をともに優先したいと考えている人がもっとも多い。現実には、男性は全世代とも「仕事を優先」がもっとも多く、女性は20代を除き家庭生活を優先している人がもっとも多い。

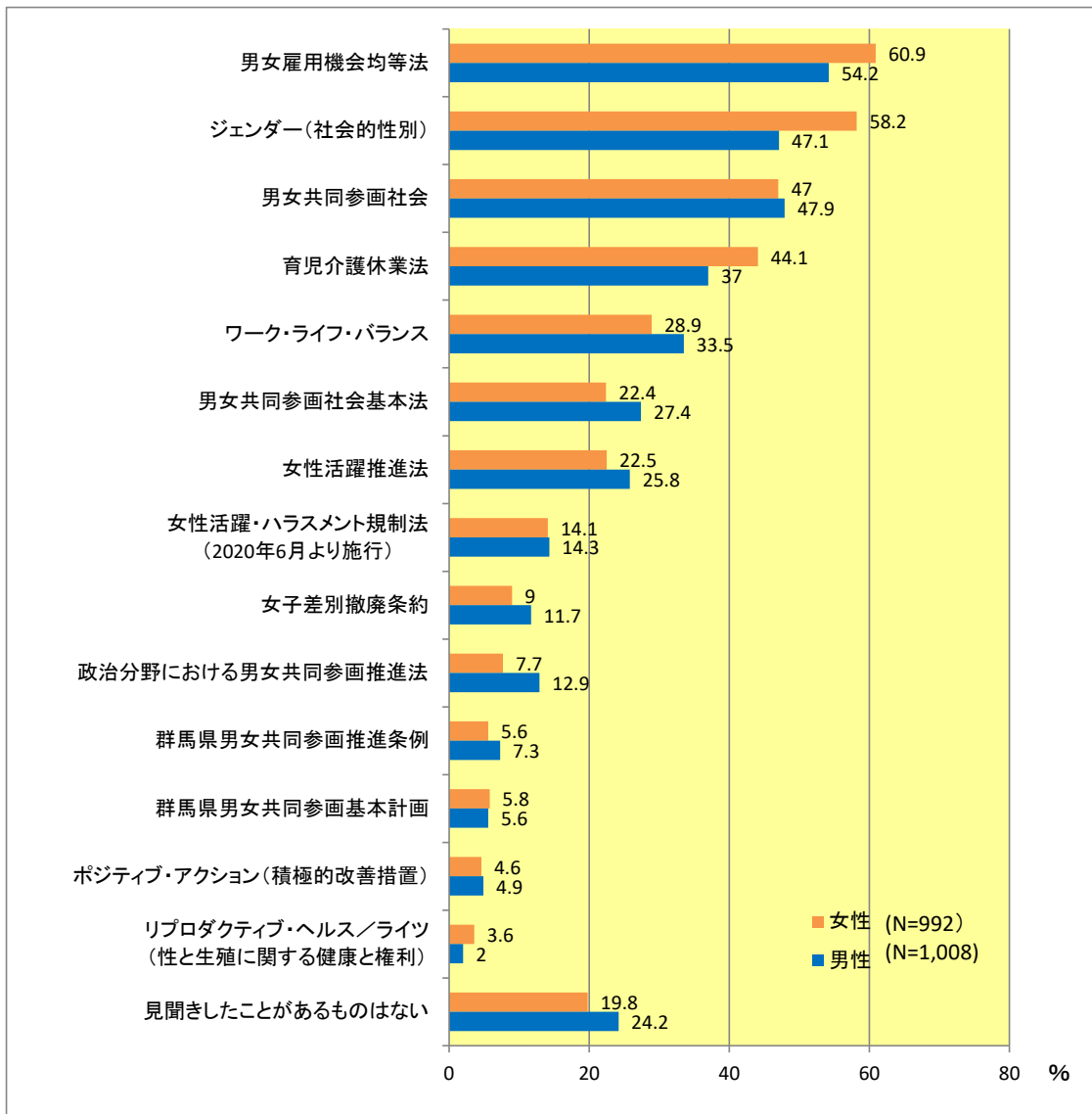
働き方は、女性では、結婚・出産・育児期に仕事を辞めその後再就職した人が、男性では学校卒業後就労を続けている人がもっとも多い。

保育園(所)、幼稚園、幼保連携型認定こども園とも、現員が定員を下回っている。

家庭内の役割分担は、「主たる収入」が圧倒的に夫であり、一方、家事労働は自治会などの地域活動を除き「妻」に偏って担われている。

1. 仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の認知度

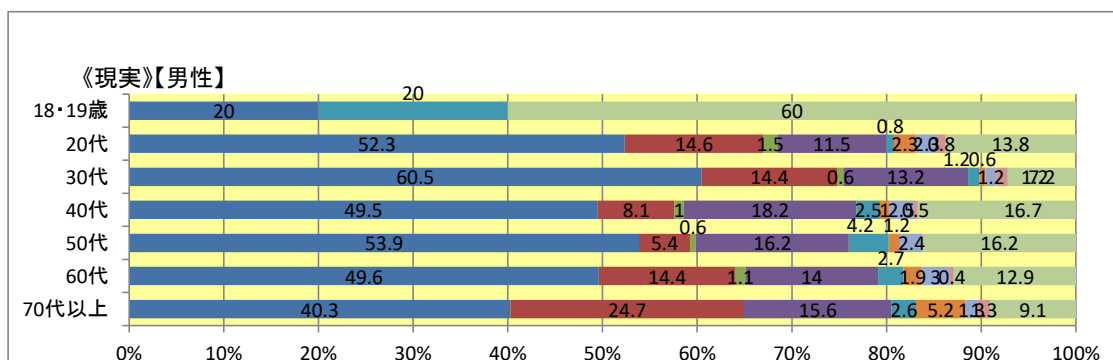
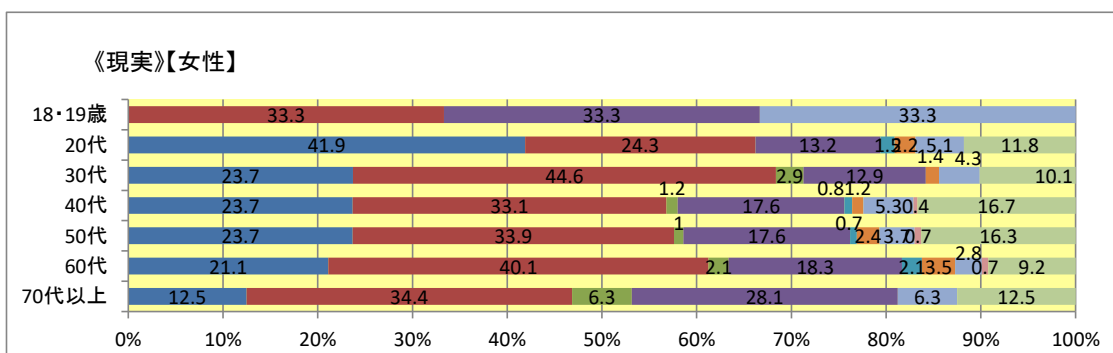
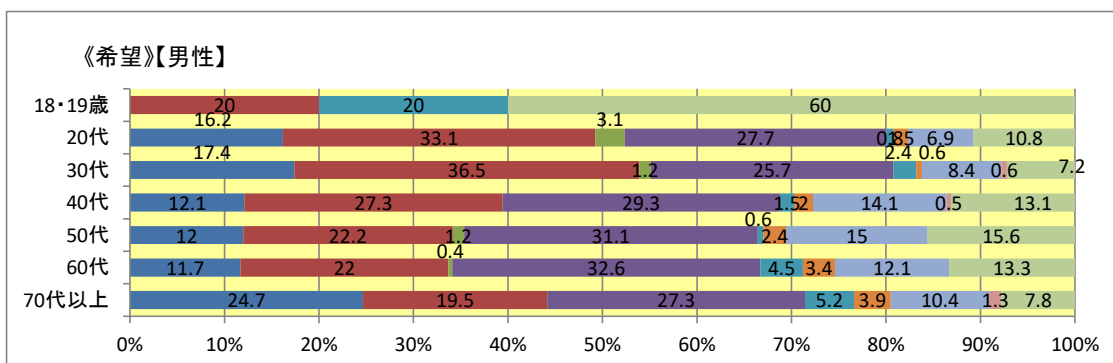
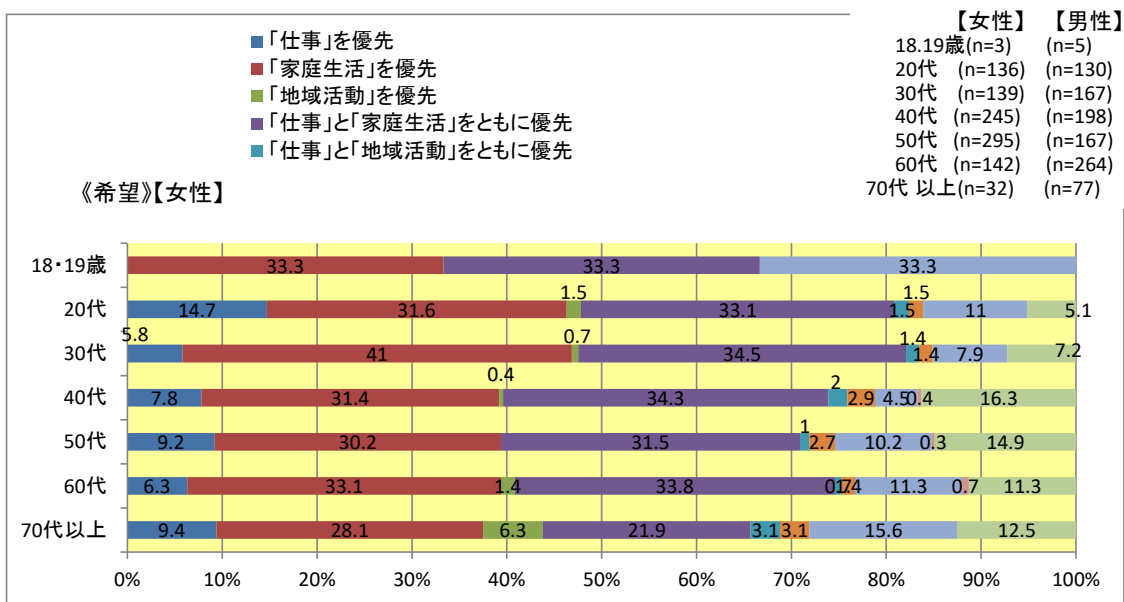
「あなたは、次のうち、見聞きしたことがあるものがありますか。(いくつでも○)」の問いに対する回答



(備考) 群馬県生活文化スポーツ部県民生活課「令和元年度群馬県男女共同参画社会に関する県民意識調査」より作成。

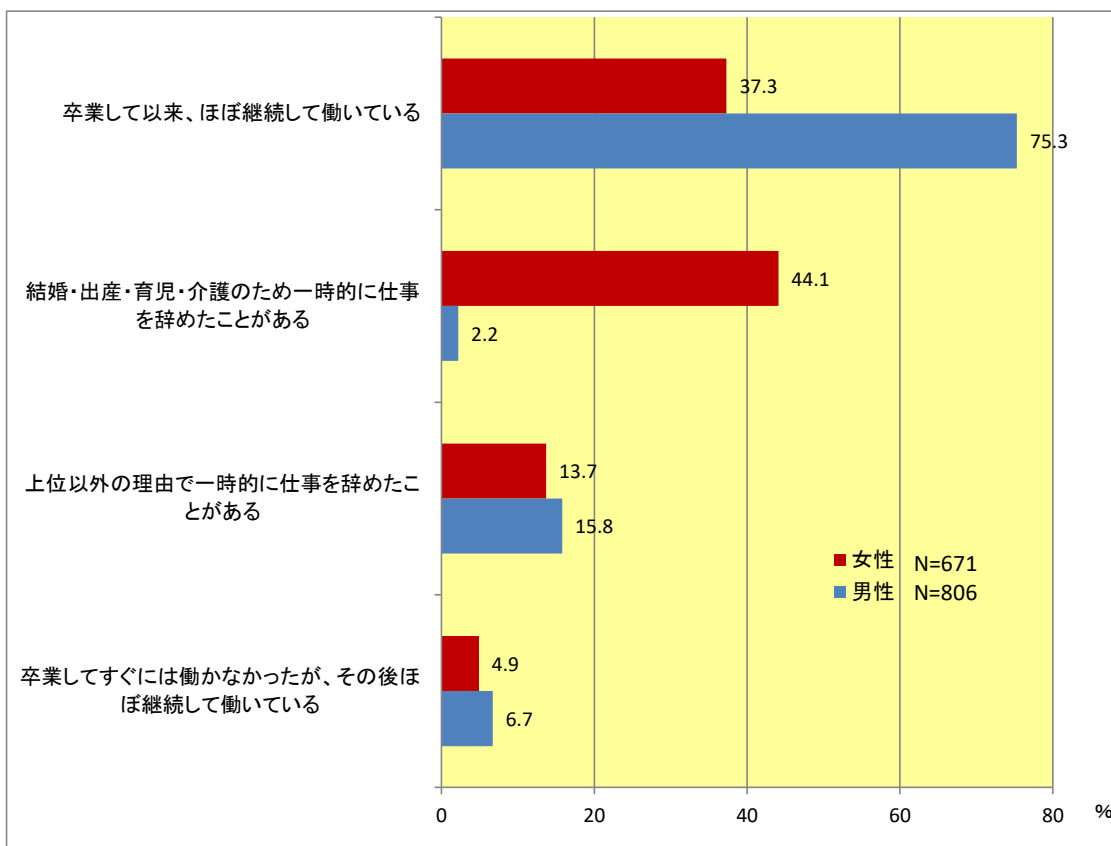
(注) 育児・介護休業法 : 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

2. 仕事と生活の調和に関する希望と現実(性別・年代別)



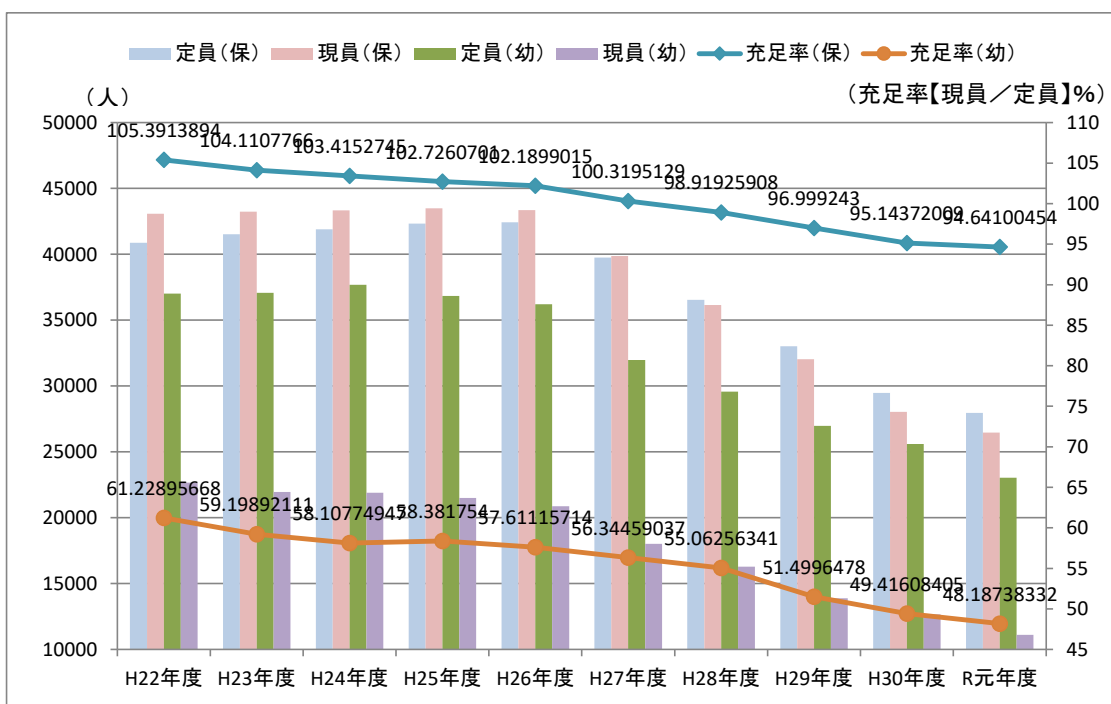
(備考) 群馬県生活文化スポーツ部県民生活課「令和元年度群馬県男女共同参画社会に関する県民意識調査」より作成。

3. 働き方(性別)



(備考) 群馬県生活文化スポーツ部県民生活課「令和元年度群馬県男女共同参画社会に関する県民意識調査」より作成。

4. 保育園(所)、幼稚園の定員と現員充足率の推移(群馬県)



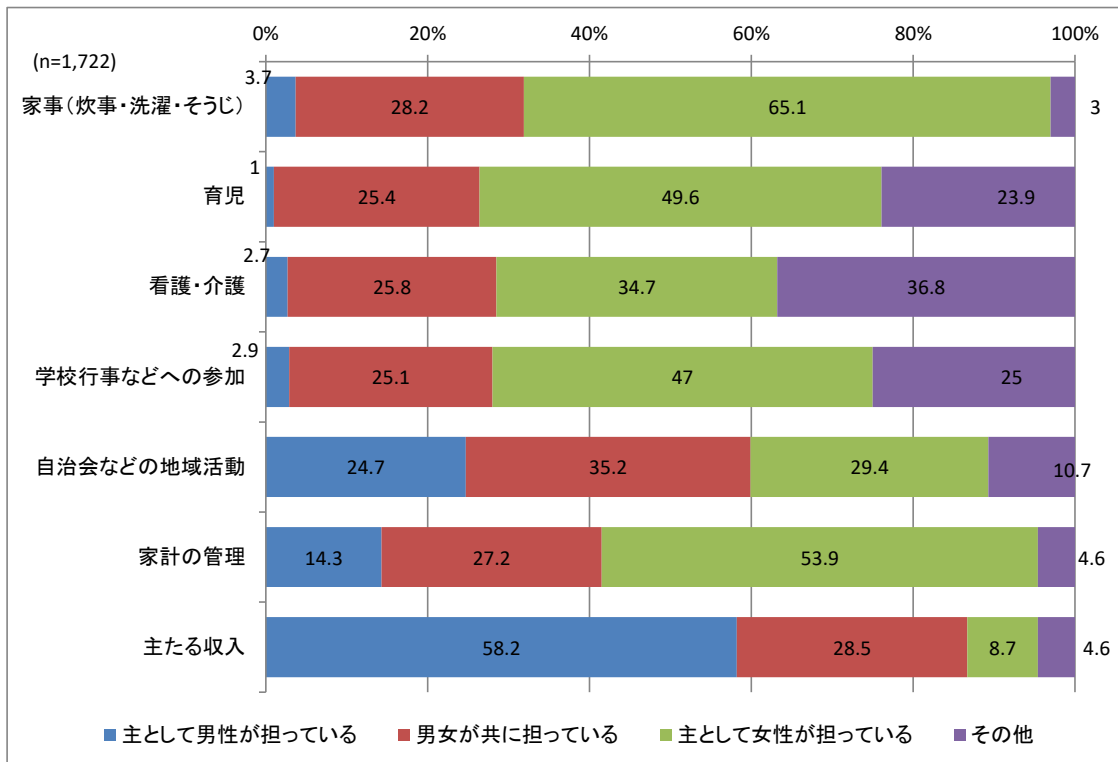
※幼保連携型認定こども園の充足率

H27年度:98.2% H28年度:95.6% H29年度:97.1% H30年度:96.2% R元年度:89.6%

(備考) 1. 保育所(園)児童数:福祉行政報告/幼稚園児童数:学校基本調査より作成。
2. 各年度5月1日現在

5. 家庭内の役割について

「あなたは、家庭内の役割について、どのように担っていますか。(それぞれ1つに○)」の問いに対する回答



(備考) 群馬県生活文化スポーツ部県民生活課「令和元年度群馬県男女共同参画社会に関する県民意識調査」より作成。